

2024年5月24日

株主の皆様へ

双日株式会社

第21回定時株主総会「第3号議案 取締役(監査等委員である取締役を除く。)7名選任の件」
に関する補足説明

2024年6月18日開催予定の第21回定時株主総会に付議する「第3号議案 取締役(監査等委員である取締役を除く。)7名選任の件」の候補者である朱 殷卿氏につきまして、Institutional Shareholder Services, Inc. (以下「ISS」という)より、独立性に問題がある(Affiliated Outsider)との判断が示されました。

当社といたしましては、ISSの判断は実態を踏まえているものでなく、当社の認識と相違いたしますので、当社の見解について以下の通り補足説明いたします。

株主の皆様には、ご理解いただき、ご賛同のほど、よろしくお願い申し上げます。

記

【候補者番号6 朱 殷卿氏について】

ISSによる非独立(Affiliated Outsider)との判断に対する当社見解

ISSは、朱氏が当社の大株主3位(2024年3月31日現在、持株比率2.58%)であるJPモルガン証券株式会社(以下「JPモルガン証券」という)に在籍していたことのみをもって独立性がないとの判断を示しています。

当社といたしましては、朱氏がJPモルガン証券の退職後約17年が経過しており独立性に問題はないと考えます。一方、ISSは、退職後一定期間の経過による利害関係の消滅、いわゆる「クレンジングオフ期間」の考え方を適切に考慮していないと考えます。

また、当社としては、JPモルガン証券による当社株式保有は、当社との関係性に基づくものでも、議決権行使による経営権への影響を企図した保有でもないと考えしております。

退職後の一定期間の経過や、実質的な保有目的を考慮せずに、大株主である組織に在籍していたことのみをもって一律に独立性を否定することは、金融機関における企業経営者としての豊富な経験や人脈を有する独立社外取締役の活用を妨げることに繋がる点で合理的ではないと考えます。

双日株式会社

朱 殷卿氏を社外取締役候補者とした理由及び期待される役割

朱氏は、JP モルガン証券、メリルリンチ日本証券で要職を歴任し、M&A 戦略や財務・資本政策に関する見識、金融機関における企業経営者としての豊富な経験と人脈を有しております。当社が持続的な成長に向けて戦略的な事業投資を推進していく中で、同氏はこれまでの経験と専門性を活かし、的確な提言を行うなど、当社取締役会における議論の活性化に寄与しております。また、報酬委員会委員長として、当社の目指す姿の実現を後押しする役員報酬制度の策定に向けて議論を主導しました。

独立した立場と客観的な視点から、経営に対する適切な監督機能を発揮し、当社のさらなる発展と企業価値向上へ貢献いただくことを期待し、候補者として選任しております。

以 上